

# Bonsai se Dankie

## ◎祝!!ナミビア独立32年!!!~Independence Day~

野芥小学校の皆さんこんにちは。春は別れの季節、そして出会いの季節ですね。ご入学、ご進級おめでとうございます。今年度も皆さんにとって充実した一年となりますように。新しい学年でも頑張ってください!!

**3月21日はナミビアの独立記念日**でした。ナミビアは今年32歳の国です。「ナミビアってすごく若い国だな!!なぜだろう?」と思ったのではないのでしょうか。今回は私の派遣国である「ナミビア共和国」の独立までの歴史について改めて説明します。

(参考ホームページ:ナミビア基礎データ外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/namibia/data.html>)

ナミビアはもともと、様々な狩猟民族が暮らす地域でした。しかし、1884年から第一次世界大戦までの30年間ドイツによって植民地とされ、「**ドイツ領南西アフリカ**」となりました。1904年ドイツ人に対して、現地民族であるヘレロ族やナマ族が対抗し、**ヘレロ戦争**が起きました。約3年間の戦争でヘレロ人の80%以上、ナマ人の50%以上が亡くなりました。その後、農業や畜産業に有益な中央・南部地域を白人だけが住むことができる土地として、北部や砂漠などの生活することが厳しい地域に黒人ナミビア人を強制的に住ませました。

第一次世界大戦中に南アフリカ軍はナミビアからドイツ軍を追い出しましたが、そのまま南アフリカはナミビアを占領し「**南西アフリカ**」としました。その後、「白人と黒人の差別化」を合法とした**アパルトヘイト**を制定し、白人優位の社会を作り上げていきました。

その後、SWAPO という団体を中心に独立運動が活発化し、**1990年に「ナミビア共和国」として独立**を果たしました。初代大統領には独立運動で活躍したサム・ヌヨマ (Sam Nujoma) が就任しました。現在は公用語を英語とし、様々な人種、民族が共存する国となっています。

簡単にではありますが、ナミビアの歴史について説明しました。ナミビアの歴史を学んで感じるのは、本当に最近の出来事だということです。私は今ナミビアで暮らしていますが、32年前には独立戦争が起こっていたなんて想像できないくらい平和で発展していると感じます。しかし、地域によっては電気や水道が整っていなかったり、道路が整備されていなかったり、お店がなかったりします。そして、ナミビアはいまだに世界の中でも貧富の格差が大きい国の一つです。課題はまだあります。大好きなナミビアの未来がより良いものとなるように、私にできること(教育)にしっかり取り組んでいきたいと思えます。今回は少し難しい内容だったかもしれませんが、自分が外国へ行ったときに、**その国の歴史を学ぶことは現地の方々へのマナー**だと思っています。皆さんもぜひ興味がある国の歴史について調べてみてください!



👉 (上)オバンボ族  
(下)ダマラ族

👉 (上)清掃員の方々・ヘレロ族  
(下)7年生・警察官の衣装?

👉 (上)4年生・7年生  
(下)6年生・7年生